

「俺」「ちよこまかと逃げやがって！ 追い詰めたぞ！ 覚悟しろ！」

俺こと観束総二は、ティルレッドという少女に変身し、エレミアンという怪人を追い詰めていた。エレミアンは人間から属性力を奪い、その人間からその属性に対する興味を失わせてしまう。ツインテール好きの俺として、見過ごせるはずがない。そうして俺は、ティルレッドに変身し、日々戦っているのだ。

「怪人」「くっ…こうなったら奥の手を！」

怪人はまだあきらめていないようで、懐から何かを取り出した。どんな武器が分からず身構えたが、それは糸で吊り下げた五円玉だった。この期に及んで何のつもりなんだろうか？

俺は怪人の意図を読む事が出来ず、怪人とその五円玉を警戒した。





「怪人」 「さあ、この五円玉を見つめて…ほら、貴方は段々…」

怪人は何を思ったのが、俺の目の前で五円玉を揺らし、古臭い催眠術の真似事を始めたのだった。こんな古臭い単純な催眠術なんて、この俺に通用するはずが…。

「怪人」 「貴方の常識が書き換わります…。逆レイプして精液を搾り取る事が、怪人や悪人へのお仕置きになります…。他にもあんな事やこんな事や…」

…こいつは何をバカな事を言っているんだ？ そんな事…そんな事なんて、当然の事だろう？ やっぱりこんな下らない催眠術なんて、テイルレッドに変身した俺に通用するわけがなかったんだ。





「怪人」 「…それでは催眠が解除されます…えいっ」

「俺」 「何がえいっだ。そんな催眠術、俺には通用しないぞ！俺に逆レイプされたくなければ、大人しく負けを認めるんだな！」

俺がそう言うと、怪人はガッツポーズを取った。追い詰められておかしくなったのだろうか？

「俺」 「…いや、お前分かってるのか？

逆レイプされるんだぞ？

こんな小柄な少女に犯されるなんて、

恥ずかしいと思わないのか？」

「怪人」 「やれるものならやってみるがいい…デュフフフ…」

怪人は挑発するようなセリフと共に、気持ちの悪い笑い声をあげた。

こうなれば望み通り、逆レイプして徹底的に搾り取って、懲らしめてやらなければ。





しかし、このまま普通に逆レイプしただけでは、この怪人を懲らしめられないかもしれない。そう考えた俺は、さらに怪人を追い詰めるべく、怪人が嫌がりそうな事をやる事にした。

「俺」 「ふっふっふ…そんなに余裕ぶっていられるのも今だけだぞ。

まずはオナニーと処女膜を見せつけて、俺のオマンコを目に焼き付けさせてやる！」

「怪人」 「ほうほう、それでそれで？」

「俺」 「ぐっ…だがその程度じゃないぞ！

お前が犯される情けない姿を撮影し、ネットで生放送してやる！ どうだ！？」

「怪人」 「ラヒィー！ アハハハハハハ！」

怪人は恐れるどころか、俺のセリフを聞いて大笑いしている。

ここまで挑発されては、流石の俺も後には引けない。徹底的に怪人を逆レイプし辱めてやらなければ。





【俺】「本当にいいんだな？」

後悔するんじゃないぞ……」

【怪人】「デユフフ……」

俺は廃墟に転がっていた椅子を持ってきて、その上に腰かけ、怪人を目の前に座らせた。観念したのが、逆レイプを恐れていないのが、怪人は素直に俺の目の前に座り、視線を股間に向ける。

【俺】「……それじゃ始めるぞ……配信スタート……っと……」

俺は偵察用の小型ドローンを飛ばして撮影を開始する。同時に動画配信サイトに接続し、生放送も開始した。タイトルは「デイルレッドお仕置き逆レイプ」とした。すると、少しずつ配信動画に視聴者が集まり始めた。





【視聴者】

「なにこの配信動画…!」

【視聴者】

「ティルレッドさんの逆レイプ?」

【視聴者】

「流石にいたずらだる…!」

配信に集まって来た視聴者のコメントが流れるが、  
どうやら俺本人の配信だと思ってないらしい。

【俺】

「みなさん初めまして、ティルレッドです。」

俺は今、エレミアンを廃墟に追い詰めました。

エレミアンを懲らしめるため、今からオナニーを

見せつけ、処女膜を見せつけ、逆レイプして

精液を子宮にたっぷりと搾り取りたいと思います♥」

俺はそう言っで、ドローンに向けて笑顔を浮かべると、

半信半疑だった視聴者は、俺が本物である事に気づき始めた。





【視聴者】

「うわっ！ 本物じゃねえが！」

【視聴者】

「レッドたん逆レイプ！？ すげえ！」

【視聴者】

「オナニーとオマンコ生配信とか、

こんなの永久保存版だる！」

【視聴者】

「拡散だ拡散！ 広めなきゃ！」

俺が本人だと気づいた視聴者は、驚きと

歓喜のコメントを次々に流していき、

視聴者の数がとんでもない勢いで増えていく。

しかし、こんな状況にも関わらず、エレミアンは余裕の

素振りをみせ、あり得ない事に勃起までしている。

【俺】

「…徹底的に犯しますから、拡散して下さいね♡」

もう絶対に許さない。徹底的に辱め、犯し、動画を拡散してやるからな。

